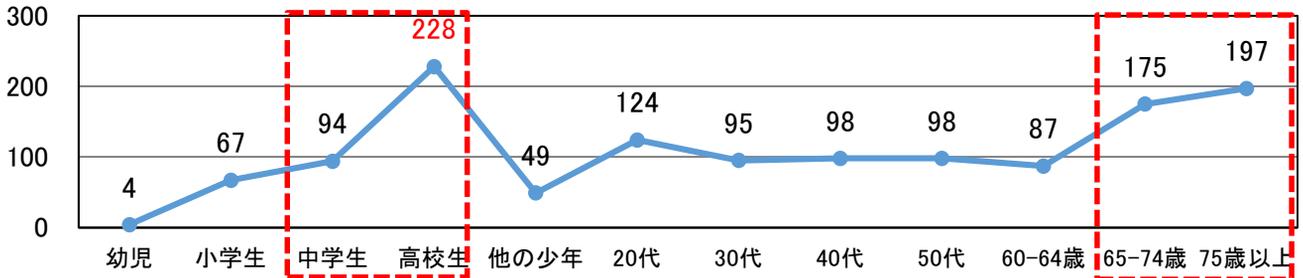


中学・高校生と高齢者の自転車乗用中の交通事故の分析結果について ～ 過去10年間（平成24年から令和3年）の分析 ～

1 学年別・年代別の死傷者数 (人)

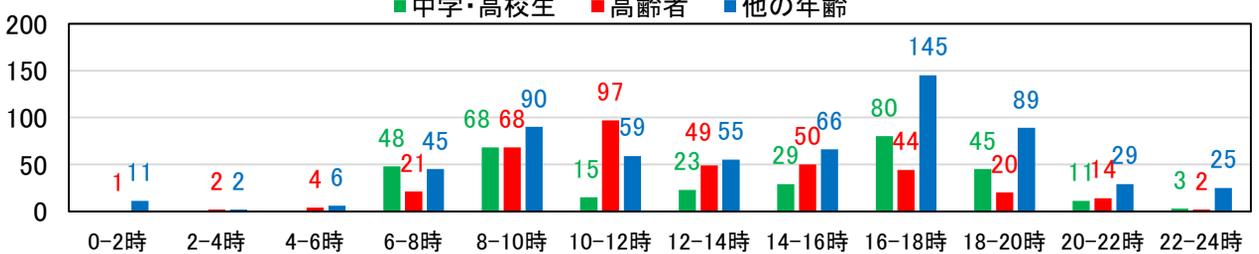


	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他の少年	20代	30代	40代	50代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
死傷者数	4	5	4	15	16	14	13	39	29	26	91	75	62	49	124	95	98	98	87	175	197	1,316
うち死者数						1					1					1	1	2	5	8	9	28

- 過去10年間で、自転車乗用中の交通事故によって1,316人が死傷し、うち28人が死亡
- 高校生の死傷者が228人と多く、中学・高校の6学年で全死傷者の24.5%
- 死者28人中、65歳以上の高齢者が17人（60.7%）、60歳以上では22人（78.6%）と高齢になるにつれ、死者数が増加

2 中学・高校生と高齢者の自転車乗用中交通事故の傾向

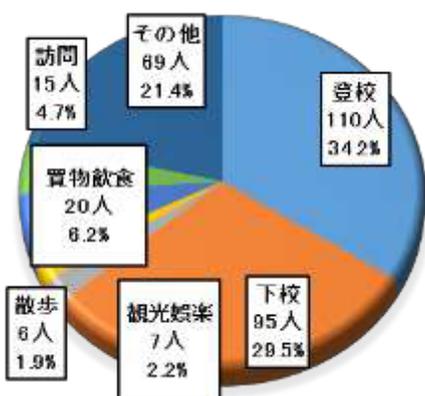
(1) 時間帯別死傷者数 (人)



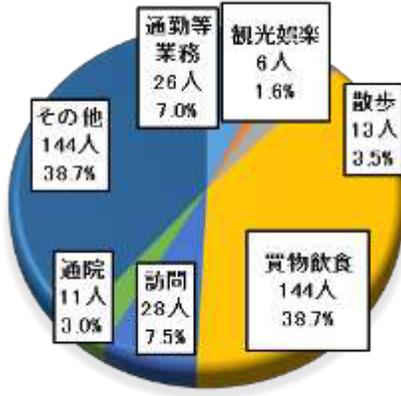
- 中学・高校生は、16時台から17時台が80人と最多で、次いで8時台から9時台が68人
- 高齢者は、10時台から11時台が97人と、他の時間帯と比較して被害が顕著

(2) 通行目的別死傷者数

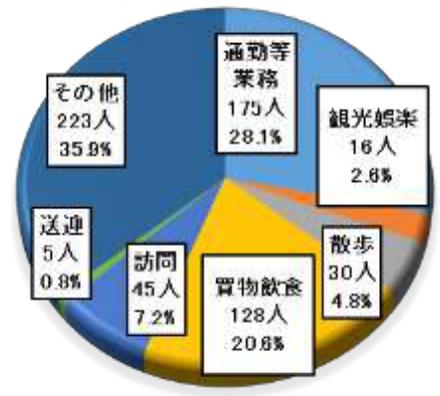
ア 中学・高校生



イ 高齢者

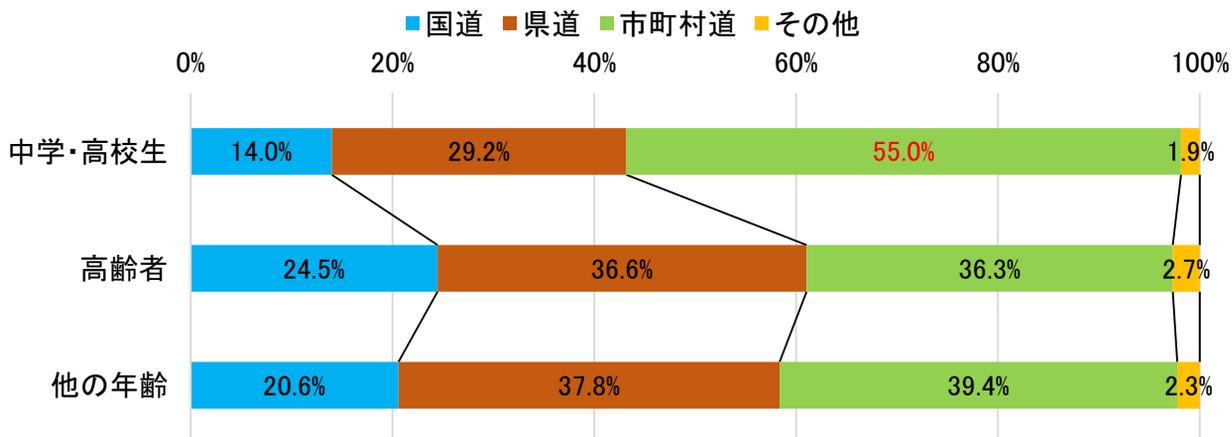


ウ 他の年齢



- 中学・高校生は、登校が110人と最多で、登下校で205人（63.7%）が死傷
- 高齢者は、買物飲食が144人（38.7%）と最多

(3) 路線別死傷者割合

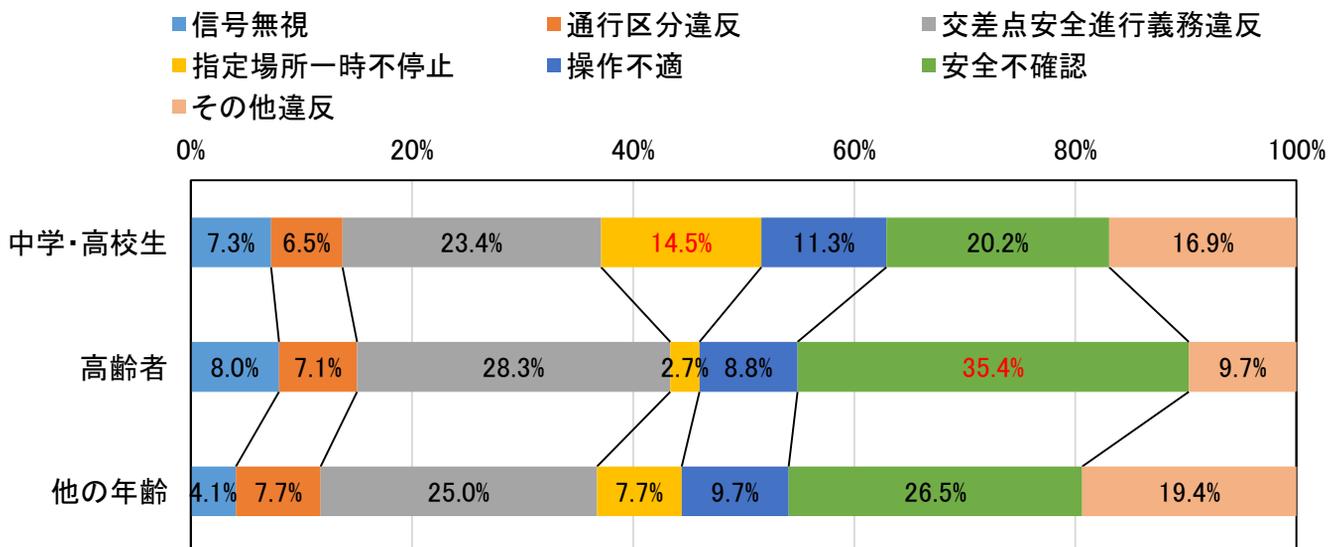


○ 中学・高校生は、市町村道での被害が55.0%（177人）と半数以上

(4) 法令違反別死傷者数

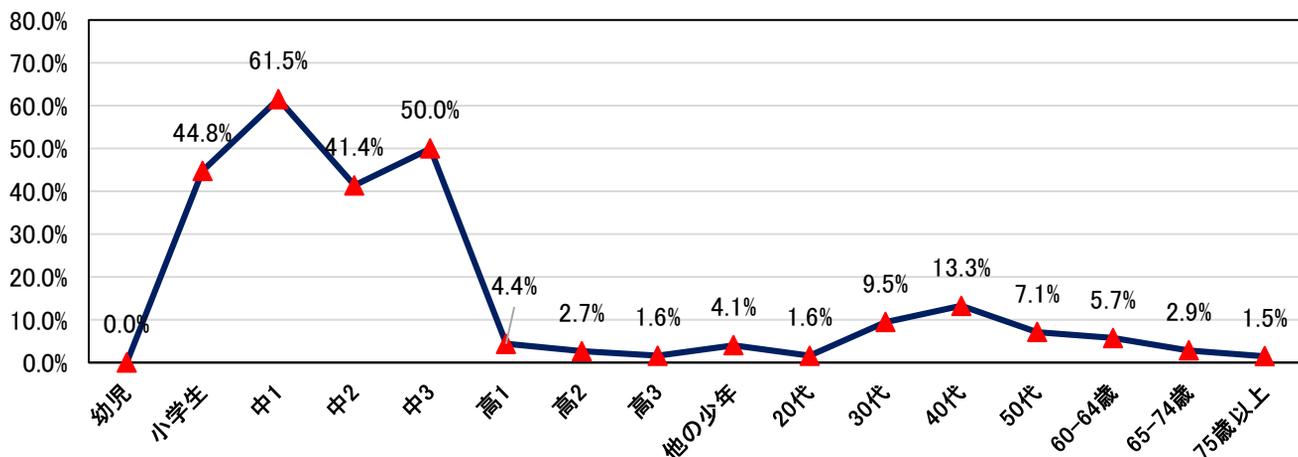
	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	通行区分違反	交差点安全進行義務違反	指定場所一時不停止	安全運転義務違反				その他違反		
					操作不適	前方不注意	動静不注視	安全不確認			
中学・高校生	9	8	29	18	1	4	9	25	21	198	322
高齢者	9	8	32	3	6	2	2	40	11	259	372
他の年齢	8	15	49	15	3	4	12	52	38	426	622

【違反あり時の違反別割合】



- 中学・高校生の死傷者の38.5%（124人）に何らかの法令違反があり、指定場所一時不停止の違反割合が、高齢者の約5.4倍、他の年齢の約1.9倍
- 高齢者の死傷者の30.4%（113人）に何らかの法令違反があり、安全不確認の違反割合が、中学・高校生の約1.8倍、他の年齢の約1.3倍

(5) 学年別・年代別の自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況



	幼児	小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他の少年	20代	30代	40代	50代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計	
着用		30	24	12	13	4	2	1	2	2	9	13	7	5	5	3	132	
非着用	4	34	14	15	13	86	72	60	47	121	85	85	90	82	167	191	1,166	
着用不明		3	1	2		1	1	1	0	1	1		1		3	3	18	
合計	4	67	39	29	26	91	75	62	49	124	95	98	98	87	175	197	1,316	
着用率	0.0%	44.8%	61.5%	41.4%	50.0%	4.4%	2.7%	1.6%	4.1%	1.6%	9.5%	13.3%	7.1%	5.7%	2.9%	1.5%	10.0%	
			52.1%			3.1%									2.2%			

- 自転車乗用中の死傷者のヘルメット着用率は1割
- 高校生の着用率は3.1%と、中学生の着用率（52.1%）から大きく減少
- 75歳以上の着用率は1.5%と、母数の少ない幼児を除いては最少